



駿台甲府小学校、明日に向けて

駿台甲府小学校 校長 山下敏伸

振り返れば、今年の夏は記録的な猛暑でした。あの頃、小学校の校内では、たくさんの人たちが一生懸命改修にあたってくれました。配管を整えたり、壁や電気を外したり、色を塗りかえたり、まさに工事現場という状況が続きました。そうして一段落したリニューアル工事は、子どもたちや保護者の目を輝かす出来となりました。迎えた始業式。登校した子どもたちの歓声が校舎内のあちこちであがりました。何度もお手洗いを訪れた児童もいたそうです。

始業式にはもうひとつ、大きなサプライズがありました。

1学期の後半に応募しておいた、ソフトバンクグループの社会貢献プログラム2の審査が通り、ペッパーが駿小にやってきました。

ペッパーはまもなく始まるプログラミング教育必修化に向け、子どもたちに最先端の学びを提供してくれる学習素材です。子どもたちが親世代になるころには、ロボットは日常的な存在になることは間違いありません。労働人口の激減が予測できる未来に、彼らの

2018年 2学期
 新版 第92号
 編集
 駿台甲府高等学校
 駿台甲府中学校
 駿台甲府小学校

存在は不可欠です。これまで駿小では車型ロボット（Evo）をプログラミング教材に採用してきました。そこでも子どもたちとともに理解したのは、ロボットは的確に指示を出さないことには働けないということでした。人と人のコミュニケーションでは、「テキストウエブ」でも事が足りる。「明日は8時ね」だけで、「何を」「どうやって」がなくてもなんとか動きます。



「〇まで到達したら止まれ」など、全てをクリアしないと、この車型ロボットはどこまでも直線的に走るだけということでした。明確なゴールイメージと、そこに至るまでの障害の把握が完璧に求められるわけです。子どもたちはプログラミングの授業を通じて、自分の意思・意図を完全に伝えきることが必要となります。何が必要とされているのか、何を満たせばその必要は埋められるのか、たいへんな課題です。こういうことをこれからの世代は解決していかなければならないのです。

す。だとするならば、グローバルもプログラミングも当たり前を期待せず、過不足ないきちんとしたコミュニケーションを育むためのツールであり、それを念頭にこれからの教育は行うべきだということを、教員はもろん保護者も考えていかなければならないのでは、と思います。



西洋の人たちはアシモフのせいか「ヒト型ロボット」にいいイメージを持っていないと言われますが、私たちはアトムやドラえもん（正確にはネコ型）の影響のもと、カワイイ文化を背景にペッパーのようなものを開発してきました。目の周りを赤や緑や青にして、こちらをじっと見てくるペッパー。同じくらいの身長（120cm）の子どもたちがワイワイ集まるのも当然と言えます。

駿台甲府の小学校。少しきれいになった小学校らしい環境の中で、子どもたちそれぞれの未来に向けて、校是である「チャレンジングスピリット」をますます発揮していこうと奮闘する毎日です。

新学習指導要領に先行した本校の教育

駿台甲府中学校 副校長 中村圭世

「大学入試センター試験」が、現高1が受験する2021年度入試から「大学入学共通テスト」に変わることが周知のことですが、大学入試改革と並行して学習指導要領も改訂されます。

中学校の教育課程においては、2021年度から新学習指導要領が全面実施されます。今回の改訂において、学校教育で育成を目指す資質・能力として挙げられているのが、①何を理解し、何ができるかという「知識・技能」の習得、②理解していることをどう使うかという「思考力・判断力・表現力」の育成、③どのように社会・世界と関わり、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養の3つの柱です。また、「主体的・対話的な深い学び」の視点からの授業改善や、各学校で教育の質の向上を図るための「カリキュラム・マネジメント」の確立についても明記されています。

本校では、新学習指導要領に示されていることは、特に目新しいことではなく、これまでの教育活動の中で取り組んできていることです。駿中では、「授業が真ん中」を合言葉に、基礎・基本を重視した学習を大切にしてきました。本校では中高で教員の異動がありますから、大学受験指導をした経験のある教員は、中学校で基礎・基本の内容を深く学び、「確かな学力」をつけておくことの重要性を痛切に感じています。「確かな学力」の中にはもちろん、思考力・判断力・表現力も含まれます。

これらの能力やコミュニケーション能力、主体性、協働性を育むために、授業ではアクティブラーニングなどを必要所で取り入れるなど、工夫をしています。また、CS(チャレンジングサタデー)や課題研究などの本校独自の活動でもこれらの力は育まれていると確信しています。

さて、来年度、中学校は塩部キャンパスに移転します。ハード面が整備されるだけでなく、高校と同じ敷地内になることで、大学入試を見据えた中高一貫教育の内容がさらに充実します。7階建ての新校舎の最上階は全校生徒が一同にそろうことができる大ホールになっています。駿台予備学校の講師や卒業生による進路講演会、科学セミ



新中学校棟完成予想図

ナーなど、各種講演会をこれまで以上に充実させ、生徒には幅広い視野を持つ人材に育ってほしいと考えています。また、すべての教室にプロジェクトが備えられ、ICT専用の教室も設置されます。さらに新1年生からは一人1台のタブレットが導入され、ICT教育の充実が図られます。これにより、教師の「どのように教えるか」、生徒の「どのように学ぶのか」が大きく変わっていきます。

本校は私立小中高一貫校で、かつ駿台予備学校の後ろ盾もあり、すでに本校独自のカリキュラム・マネジメントを行っています。今後、よりよい教育を目指して、マネジメントに努めていきたいと考えています。



現在の工事の様子



ICTルーム



キャンパス完成予想図

高大接続改革の流れ

駿台甲府高校 主幹教諭 若林秀則

2014年末より、新しい時代に相応しい高大接続に向け、高等学校教育・大学教育・大学入試それぞれの改革が検討されてきました。高等学校教育に関しては2022年度入学生（現小学校6年生以降、中学では来年度より移行期間）から新学習指導要領が施行され、大学入試に関しては2021年度入試（現高校1年生以降が受験）から新制度での実施が予告されています。

この改革にあたっては制度変更ばかりに注目しがちですが、それ以上に十分に理解が必要なことは、今回の高大接続改革の目的が、これまでの①「知識や技能の習得」に加え、②「思考力・判断力・表現力を育成する」とともに、③「学びに向かう力や人間性を涵養する」（学力の3要素）とあることです（下図）。特に、②・③が今回の改革の目的の主たる部分であり、この実現に向けて様々な取り組みが高大接続システム改革会議等にて検討されてきました。高等学校教育改革（現小学校6年生）では、古典や地理歴史の「探究」科目や「理数」、「総合的な探究の時間」などの新科目が設置されます。その授業での探究活動を通して、生徒自身が主体的・対話的で深い学びを実現することとされています。

大学入試改革（現高校1年生以降が受験）では、新テストに記述式を導入することで、受験生の思考力や判断力、

表現力を評価するとされています。さらに、大学個別試験では学力の評価だけではなく、受験生から提出された資料をもとに、主体性や積極性を評価しようとする取り組みが検討されています。具体的な変更点は次に示す通りです。

- ・これまで実施してきた「センター試験」から「大学入学共通テスト」に名称を変更し、国語と数学で記述式問題を導入。
- ・英語については民間資格・検定試験を活用。（2024年度入試（現中学校1年生が受験）までは大学入学共通テスト「英語」と併用予定）



図 「学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）補足資料」より

・一般入試は「一般選抜」、AO入試は「総合型選抜」、推薦入試は「学校推薦型選抜」に名称を変更。

- ・いずれの入試形態においても「学力の3要素」を多面的・総合的に評価できる大学個別試験の実施を検討（学力評価はすべての入試で行う）。
- ・高等学校での生徒の活動履歴をより細かく評価（生徒自身が「活動報告書」を作成）。

以上のように、高大接続改革において大きな制度変更が検討され、実施に向かっています。

【本校の取り組み】

この高大接続改革ですが、現在のシステムからすべてのものが変わってしまう訳ではなく、社会の実情に合わせて、評価（選考）項目のウエイトが少し変わるだけであり、高等学校での学びの本質が「確かな学力の醸成」であることには変わりありません。したがって、本校での教育の本質的な部分も従来のものから変わることなく、制度的な部分への対応を検討し、スタートさせています。

◇コース・フィロド制の導入

今年度2学年よりコース・フィロド制をスタートさせました（以下、CFとします）。このカリキュラムでは、高校2年次に生徒自身の興味関心に基づいて、スパーコース、コアコース（Humanities・Globalization・NaturalScience・MedicalScienceの4フィロド）、アスリートコースの3コースから選択します。土曜日2時間の

授業時間を利用し、CFごとに設定される独自の探究的プログラムを実践します。ここでの共働学習と課題研究を行う中で、主体的に学ぶ姿勢と豊かな表現力や人間性を育み、そして自己を見つめ直す過程を通し、将来の進路選択へと結び付けていきます。

◇e・ポートフォリオの作成

今年度高校1年生より、生徒の学習・活動の記録をデジタルデータとして保存しています。e・ポートフォリオの記録をもとに、自己の学習の振り返りを行い、主体的かつ効率的な学習を実践していきます。最終的には、蓄積した3か年の学習・活動データを集約し、大学入試に必要な資料の作成を行う予定です。

◇個人タブレットの導入

来年度新入生より、一人1台の個人タブレット（iPad）を導入します。この導入により、駿台予備学校のe・ラーニングシステム・駿台サテネット（映像講座・テキスト代のみ）を学校外でもご利用いただけます。これまでに以上に主体的な学習が実践できる環境を整備します。

大きな制度変更を迎える転換期にあたり、生徒も保護者の方も不安を抱きいてしまいがちですが、駿台甲府高校の教育はこれまでと変わることはございません。駿台予備学校の大きなサポートとともに、高校進路指導部を中心として、「納得受験」のもと、小中高一貫した取り組みを実践してまいります。

デジタルアート導入

美術デザイン科 四條朋恵

高度な情報化が進んだ現代社会において、インターネット、雑誌、映画、漫画などの様々な情報メディアは、私たちの生活に欠かせないものとなっています。美術の世界でも日本画、油彩画などのアナログな表現だけでなく、コンピュータを使った幅広い表現活動が行われています。

美術デザイン科では、生徒達にデザイン・油彩画・平面構成等で培った技術を活かしながら、さらに様々な表現方法を獲得してもらおうと、デジタルアートの導入を始めています。

学校の生徒用パソコン三十五台にCGアプリのAdobe Illustrator と Adobe Photoshop をインストールし、各学年ごとに授業と放課後活動で活用しています。

一年生は「情報」の授業でコンピュータの使い方とCGアプリの操作を学んでいます。「実習」の授業では幾何学形態を使用した生物の制作をしています。

二年生は、三年生で必要となるポートフォリオ（作品集）の制作準備と、レタリングやポスター制作を二学期末から行っていきます。

三年生は進学コースと一般コースで分かれて制作しています。進学コースは受験に向けてポートフォリオ（作品集）の制作をしています。一般コースは「私のお店」を考える課題でロゴ・

DM・ポスター・パッケージ等のデザイン制作をしています。

放課後は希望者を募り、3Dプリンターの講習会を行っています。CGアプリで形を作り、3Dプリンターで立体作品にしています。これからの社会を担う生徒たちに、複合的な表現方法を身につけてもらい、社会で活躍できる人材になってもらいたいと思います。



1年生のCGアプリの操作の様子。



ペンタブも使用できます。

新校舎建設事業寄付金のお願い

学園総務部

皆様には、平素より駿台甲府学園の学校運営に関してご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本学園では、昭和55年4月の高等学校開校以来、順次、中学校、小学校を併設し、駿台の教育理念である「愛情教育」に基づく教育活動に取り組んでまいりました。これもひとえに保護者の皆様をはじめ、卒業生及び関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

平成31年に駿台甲府高等学校創立40周年を迎えるのを機に、現在、中学校を高等学校と同じ塩部キャンパスへ移転する計画を進めており、中高一貫教育のさらなる充実を図っています。

教室棟（7階建）と体育館の建設計画を行っており、冷暖房の完備はもとより、ICT環境の整備等、全教室で教育効果を最大化すべくハード面での充実を期しております。この事業達成のため、本学園として自助努力をすることはもとよりではございますが、総事業費の一部として保護者や卒業生の皆様、企業の皆様等広く各界に寄付金の募集をさせて頂きたいと存じます。

何卒、趣旨をご理解の上、温かいご支援を賜りますようご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、保護者の皆様、卒業生及び関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

○目的

駿台甲府中学校新校舎建設に係る諸費用、施設・設備充実のために充当いたします。

○募集口数

- ・個人 一口 一万円
- ・法人 一口 十万円

（複数口でご協力頂ければ幸いです）

○申込方法

募金趣意書・またはホームページに掲載しております。（銀行振込他・クレジットカード・コンビニ支払・ペイジーによる決済が可能です）

※税制上の優遇措置について

◇個人の場合〓「税額控除制度」または「所得控除制度」のどちらかを、ご寄付者ご自身で選択して控除を受けることができます。

◇法人の場合〓日本私立学校振興・共済事業団を経由する「受配者指定寄付金」として取扱い寄付金の全額を損金算入することができます。

【お問い合わせ先】

〒400-0026

山梨県甲府市塩部二一八一

学校法人駿台甲府学園

法人局総務部

TEL 055-251-5584